

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年12月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103730
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム 笹貫の家
所在地	鹿児島県鹿児島市小松原一丁目1番2号 (電話) 099-268-2627
自己評価作成日	平成27年10月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://www kaigokouhyou jp/kaigosip/Top do?PCD=46>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年11月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「笑顔の絶えないグループホーム」「あなたが今できることを大切に」「いつまでもおいしく食事が摂れて、元気で過ごせるように」の理念を根本に大切にした、その方にとつて、ここが家であると思っていただける、またその方にとって私達職員も家族の一員となるような、寄り添うケアを大切にしています。季節ごと、また定期的な室内や外出する機会を多く取り入れ、ご本人はもちろん、ご家族の方々にも喜んでいただけるようなイベント内容を実施できています。また毎月発行している「笹貫だより」に、ホームでの取り組み内容を分かりやすく掲載し、遠方のご家族様や知人の方々にもホームでのご様子を知っていただけるように努めています。ご要望やご相談事、お困り事など事業所や管理者、職員に対して気兼ねなく話していただけるように、管理者をはじめ、職員全員が心がけて努めています。また町内会に所属し、地域町内活動にも積極的に参加させていただき、地域清掃や町内会夏祭り、校区運動会などの季節行事にも、入居者様が主体となって参加しております、毎年の楽しみイベントとなっています。口腔ケアにも力を入れております、協力歯科医院がお一人お一人の口腔状態を管理し、安心できる良い口腔状態が維持できるように努めており、食事に関しても、「入居者様にとって何よりも一番の楽しみは食事」という入居者様の想いを大切にして、野菜を中心に季節の食材を使用した、充実した内容の食事献立となっています。食事に関して、入居者様が食べたいメニューを入居者様よりお聞きして、できるだけ希望に沿った食事メニューを提供できるように努め、毎日の食事を楽しめて、おいしく召し上がっていただけるよう、常時工夫しています。最寄りに市電やバス停があり、お車でもお越しいただきやすく、ご家族様やご友人の方をはじめ、足を運びやすい住環境にあるグループホームです。また近隣に様々なお店や飲食店、郵便局や銀行など、入居者様にとって利用しやすい地域資源があることも魅力のグループホームです。職員全員で「その方にとって、ゆっくりを大切に、安心して笑顔で過ごせる」グループホームとなるように、日々取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当ホームは町内会に加入し、地域清掃や防犯パトロール・校区夏祭り・運動会など職員や利用者も参加している。中学生や高校生の実習受け入れやサマーボランティア、近隣のケアハウスと共同での「町内会交流会」など地域と積極的な交流ができている。
- 消防署の協力を得て、昼・夜間を想定した避難誘導訓練や消火器の点検・取り扱いなど実施している。ハザードマップを掲示し、防火管理者を中心に風水害・土砂災害を想定して自主訓練も実施して活動要領を身につけるようにしている。
- 系列には医療機関を中心に多数のグループホームがあり、毎月1回の管理者会議での情報交換の場がある。同一法人内のグループホームと行事の合同実施等で交流している。母体の協力医療機関とは24時間の医療連携体制が築かれており、緊急時対応等での安心となっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況 次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼後に、職員全員で理念を唱和し、理念を意識し共有して、日々のケアに実践できるように努めている。	事業所独自の理念をホームに掲示し、朝礼後全員で唱和している。会議や研修等で、理念に基づいたケアの在り方の話し合いを持ち、理念に沿ったケアの実践ができるか振り返りながら日々のケアに当たっている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らしつけられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月に1回の地域清掃に、入居者様も参加したり、夏祭りや運動会などの地域行事に参加交流ができている。また今年は、同じ町内に属するケアハウスと共同で、「町内会交流会」を9月に企画実施でき、地域の方々との交流を深められた。毎月5日に地域活動として防犯パトロールに職員が参加しており、地域町内の方々と日常的に交流できている。	町内会に加入し、地域の一員として地域活動や行事に利用者と職員が一緒に参加している。散歩を兼ねたゴミ拾いを定期的に実施したり、中・高校生の実習受け入れ・ボランティアの受け入れ等、積極的に地域との継続的な交流を行っている。
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	2ヶ月に1回開催する運営推進会議の場を活用して、当グループホームの取り組みや、認知症の人の理解や支援方法など、具体的に発信できている。まだ実施できていないが、町内の独居高齢者の方々が集まる場に参加して、認知症理解と認知症介護についての取り組みなどを、お話させていただく場を地域の方と協議している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	当グループホームとしての取り組みをはじめ、参加いただいたいる方に報告やまた助言等をいただきながら、サービス向上に活かせられるように努めている。	会議は定期的に開催している。ホームの状況や行事等の報告・外部評価の報告を行い、意見交換をしている。災害時の協力体制について参加者の意見を参考にしながら支援に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	管轄する地域包括支援センター職員の方と定期的に連絡を図ったり、生活保護課担当者と日々の状況等を報告相談しながら、密な協力関係を築けている。	市担当者とは、電話や出向いて困難事例の相談をしたり、利用者の暮らしぶりやケアの様子を伝えている。行政主催の研修会に出席するなどして情報交換して協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月の職員会議やカンファレンス、また定期的に内部研修を通して、具体的な事例を挙げながら、職員全員が身体拘束について理解し研鑽しながら、入居者様の日々の生活の中で、身体拘束をしないケアに取り組めるよう努めている。また身体拘束廃止マニュアルを回覧して、職員全員が理解を深めていけるよう努めている。	身体拘束廃止マニュアルを基に、職員会議や内部研修で事例をあげて言葉遣いも含め、利用者の心身に拘束をしないケアの具体的な理解と実践ができるようしている。日中、玄関の施錠をせずに全職員は見守りしながら入居者の自由な生活を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。	毎月の職員会議及びカンファレンスで、具体的な事例を挙げながら、高齢者虐待について研鑽して学びを深めている。また内外の研修を通して、高齢者虐待防止に努められるように取り組めている。			
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	今のところ、日常生活自立支援事業や成年後見制度に該当する入居者様がいない為、漠然として受け止めているが、内外の研修参加を通して、学びを深められるように努めたいと考えている。			
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	定期的な法改正や税率改正に伴う、当事業所の改定等の際は、書面や口頭にて懇切丁寧に十分な説明理解を得られている。また新規契約、また解約時にも懇切丁寧を基本に、管理者が十分な説明と質疑応答に対応させていただいている。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会議や運営推進会議の公的な場であったり、日々の面会やお電話などで、ご意見やご要望を外部者へ表せる機会を設けている。また月々のホーム便りでも外部者へ発信できるようにして、運営に反映させている。ご意見箱も設けているが、今のところ活用されていない。	利用者からは日々の暮らしの中で思いを聞いている。家族からは面会時に声かけしたり電話で個別に要望等を聞いたり、行事を兼ねて開催する家族会や運営推進会議で意見等を出してもらい、出された意見や要望は話し合い今後の運営に反映させていく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は、毎月の職員会議や個別の面談等で、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、管理者が代表者に報告相談することで、職員の運営に関する意見や提案を聞く機会を設け反映させている。	管理者は日々のコミュニケーションの中で気軽に職員の思いを聞いている。毎月の職員会議や個別には自己評価後の面接や相談で意見等を聞いている。出された意見や提案は管理者会議や代表者に報告・相談をして運営やケアに反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	処遇改善加算Ⅰを取得している為、毎月の給与に反映させている。また各自が向上心をもって働くような職場環境・条件の整備は、代表者と管理者が会議の場で意見交換して作れるよう努めているが、給与水準に関しては、今のところ変化がない状況である。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は、定期的に法人内外の研修企画を案内し、管理者や職員が研修を受ける機会を確保し、管理者や職員のスキルアップにつなげられるよう、働きながらのトレーニングしていくことを進められている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は管理者や職員をはじめ、同業者や多職種共同での交流機会を定期的に設け、サービスの質向上させる取り組みを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人やご家族に対し、不安やご要望に耳を傾け、安心して過ごしていただけるような関係作りに職員全員が努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初回時にご本人やご家族様からのご要望やご相談事を傾聴し、良好な関係作りができるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族様が、何を必要としているかを見極め、グループホーム利用以外のサービスも提案できるような柔軟な対応を心がけている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らしを共にする者同士として、支え合う関係を築いていくよう職員全員が努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月々の職員会議などで、家族支援も含めた「認知症ケア」であることを職員全員が確認し合い、ご本人様とご家族様の絆を大切にしながら支えられるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みある方々からの手紙や電話等の連絡、また面会にて、関係の継続を支援させていただいている。また本人が会いたい人や行きたい場所(墓参り等)のご要望があれば、随時ご家族様にご相談して、ご協力をいただきながら支援できている。	これまでの生活習慣を把握し、手紙や電話の取次ぎ、家旅行事への参加、以前の職場周辺のドライブや墓参り等、家族の協力を得て支援している。馴染みの人の面会や訪問が途切れないよう、来訪時は居室でお茶を飲みながらゆっくりしてもらう等、心配りをした支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の相性や関係性を職員間が情報共有し、円滑且つ良好な関わりができるよう努めている。また良い関係性を深められる為にも、レクリエーション活動を通して、円滑良好な関係性が築けるように、職員全員が意識しながら努められている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了後も、随時相談や支援できる体制を築いており、これまでの関係性を継続維持できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の立場になって、ご本人の希望や意向に沿っての暮らし方を考え、支援できるように努めている。	入居時の聞き取りや日常生活の中で表情や会話などから思いを推し測り、朝礼の申し送りなどで全職員で共有している。意思疎通が困難な場合、面会時家族や関係者などから情報を得て、本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やご本人から、これまでの生活歴や暮らし方、生活環境についてを教えていただき、職員間で情報共有できるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の朝夕の申し送りで、その日の暮らしぶりや現状を把握することに努め、気になる点は定期的にカンファレンスを開き、職員全員が情報共有できるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のケアカンファレンスにて、検討すべき改善課題とケアについて話し合い、また日々の生活の中で本人及び面会等で家族と話し合い、また主治医や関係者とも話し合ったことを、現状に則した介護計画に反映させて介護計画を作成できている。	本人や家族の思いや希望を聞き関係者や職員で話し合い介護計画を作成している。3ヶ月毎のモニタリングと1年毎または本人、家族の要望や健康状態の変化が見られた場合は現状に合わせて介護計画の変更を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	日々の様子や気づきを個別の記録し、職員間で記録等の情報共有をしながら、ケアの実践や介護計画の見直しに活かされている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	ご本人やご家族のニーズに応じて職員間で協議しながら、臨機応変、柔軟なサービスの多機能化に努められている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	所属している町内の町内会行事等への参加をはじめ、身近なものから広い範囲の地域資源を把握して、安全で豊かな暮らしを楽しめるように支援できている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	ご本人やご家族の希望に沿ったかかりつけ医を受診できており、また適切な医療を受けられるように支援できている。また各かかりつけ医とも密に連携が図れている。	本人及び家族の希望するかかりつけ医の受診を、家族の協力を得ながら支援している。眼科・皮膚科なども支援し複数の希望するかかりつけ医の受診ができるよう関係を密に結んでいる。2週間に1回の訪問診療や協力医療機関の24時間医療連携体制が整っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中で得た情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職場内の看護師や訪問看護師等と連携し、入居者が適切且つ必要な受診や看護が受けられるよう支援できている。			
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院に際して、当グループホームでの介護サマリを作成し、医療機関と連携がスムーズに取り行えるように努めている。またご家族様とも連携して、ご本人様が安心した治療を受けられ、早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談等に努めている。			
33 12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	当事業所では、重度化した場合や終末期のあり方については、該当する利用者様のご家族様を中心に、早い段階や定期的に十分な話し合いを行い、事業所としてできることを相互理解を深めながら説明同意を得ながら支援できている。また今のところ看取りに関しては、書面や口頭にて行わないことも予め、どのご家族様にも十分に説明を行い、理解を得ている。ただし、ぎりぎりのところまでは、当事業所としてさせていただくことを説明し支援させていただいている。	契約時に事業所の方針について説明し理解を得ている。事業所では原則として看取りについては対応しない方針である。本人や家族の意向を踏まえ状態の変化がある毎に本人・家族と話し合いをして、かかりつけ医や看護師との連携をはかりながら全職員で支援に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	内外の研修参加や職場内の看護師等に指導をもらいながら、職員各自が日頃から意識しながら、実践力を身につけられるように努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を取り行い、立会の消防隊員から指導を受け、また近隣住民や地域の方々とも、運営推進会議の場等で災害時の取り組みについて、協議継続している状況である。	消防署の協力と指導を受け年2回昼・夜間を想定して、利用者と共に避難訓練や消火器の使い方を行っている。地震その他の災害を想定して避難経路の確認など自主訓練を行っている。スプリンクラーが設置され、地域住民への協力体制も築かれている。非常用の食料品・備品など準備されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員一人一人が、充分に配慮しながら利用者的人格を尊重しながら日々対応することを心がけている。</p>	<p>内外研修で、一人ひとりの人格の尊重に対する理解を深めている。声かけは「さん」づけで呼びかけ、言葉づかいが不適切な場合はすぐ注意するなど、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。おむつ交換は居室で行っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>できる限り、本人の希望に沿うような自己決定ができるよう、職員全員が意識して働きかけている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者様お一人おひとりのペースを大切にして、どのようにお過ごしになりたいかを考え支援できるよう努めている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>整髪や髭剃り、爪切り等々の日々の身だしなみを大切にし、また外出時など、その方の希望される、おしゃれを大切にしながら支援できている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むきや、食材の下ごしらえ、料理の味付けや味見など、お手伝いいただき、一緒にテーブルを囲み楽しく食事をしている。また食後は食器類の片付けや、台拭き、お盆拭きを毎食後に当番を取りきめてお手伝いいただいている。	栄養士の作成した献立を基本に、利用者の好みの物を取り入れている。個々に応じた食事形態で提供し、職員と一緒に準備や食事・片付けをしている。菜園の旬の野菜を調理したり、誕生日祝いや行事食・外食などで食事を楽しんでもらえるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バイタル・食事水分摂取量を記載する表を作成し、毎食や時間ごとの水分摂取量を表に記載することで、職員が一人一人の状況を把握して、その方の状態等に応じた支援ができている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行い、口腔内を清潔に保持できるように努めている。また協力歯科医院に定期的に通院して、義歯状態をはじめとした口腔内の管理をしてもらい、適宜口腔ケアや口腔内に関して、助言等をもらいながら、口腔ケアに努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握して、出来るだけトイレでの排泄ができるように努め支援している。また排泄状況を見極めて、おむつ使用の減少やおむつはずしに努めている。	トイレでの排泄を基本として個々の排泄パターンに合わせたトイレ誘導を行っている。リハビリパンツから布パンツ使用に改善した利用者もいる。トイレ誘導により自立に向けた支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日のヨーグルトやホットミルクなどの乳製品の提供や、食事献立に野菜を中心とした食物繊維類を多く献立に取り入れ、また日々の歩行練習や体操などの簡単にできる運動を取り入れることで、便秘予防に努めている。また状況に応じて、主治医にも相談して、便秘等の助言をいただいている。			
45 17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日や時間を気にすることなく、本人の希望に沿って、気持ちよく入浴ができるように、個々に応じた入浴の支援ができている。	入浴日は基本的に週3回であるが時間や快適な湯温度など本人の希望に沿って行い、個浴を楽しんでいる。入浴剤やゆず湯にするなどの工夫もしている。入浴を嫌がる場合は、職員を変更したり翌日にする等、無理強いしないようにしている。		
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夕食後しばらく時間をおいてから、ホットミルクやホットココアを提供し飲まれることで、安眠効果につなげられている。また季節やその日の気候、体調等に合わせて、室温や寝具類にも十分に配慮している。また安眠につなげられるような声かけや対応を心がけている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
	47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様個別に処方されている服薬内容を、入居者様にわかりやすく説明し、また職員各自が処方された服薬効能や内容を把握理解しており、服薬支援と症状の変化の確認等に努めている。		
	48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の残存能力や生活歴に応じた、家事参加を中心とした役割を担っていただいたり、日々のレク活動や定期的なホームの催しに参加されることで、気分転換を図り、張り合いや喜びのある日々を過ごせられるような支援ができている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節やその時の状況に合わせての散歩支援や、個別的にはご家族様の協力を得ての日常的な外出支援ができている。また、年間行事計画を立てて、定期的な楽しめる外出機会を設けて、ご家族様の参加や、地域の方々にも協力を得ながらの支援ができている。	日常的に、近隣の公園まで散歩や少人数でのドライブで気分転換を図っている。年間計画に沿って、春や秋のお花見・ドライブ等、定期的に戸外に出かけるようにしている。家族との外食や買い物・墓参り・法事等への出席なども支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
	50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人一人のお金に対しての理解力や認識力に応じて、お金を使うことを希望する際は、ご本人がお金を使えるように支援できている。またご家族様の理解と協力を得て、ご本人がお金を所持できるように取り組んでいる。		
	51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	随時、電話をかけることや、電話を受けることを支援できており、年賀状をはじめ手紙等のやり取りができるように支援できている。		
	52 19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日々の室温調整や気候に応じた外からの光や照明への配慮、食事時やくつろぐ時間に配慮した音楽やテレビ等の音への配慮、その時の季節がわかる壁面作りへの工夫を、職員全員が協力し合いながら、居心地よく過ごせる共有空間作りに努めている。	ホールは大きな窓があり明るい。日当たりがよく、快適な室温環境が保たれている。廊下を利用して歩行訓練をしたり、くつろげるようソファーも置かれている。壁面に掲示されている作品は季節に応じて変えるなど四季を感じてもらえるよう工夫されている。利用者はテーブルを囲んでお喋りや折り紙・ぬりえ・テレビを楽しみながら、それぞれの場所でくつろいでいる。	
	53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思に過ごせるような居場所の工夫をしている	一人一人がくつろげるソファーなどを設置したり、外を眺めながら談笑できるスペースの確保をして、落ち着いて過ごせる環境や雰囲気作りに配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みある家具類や大切な人の写真など持ち込んでいただき、ご家族様の協力を得ながら、ご本人が過ごしやすく居心地のよい居室作りの工夫を随時行っている。	居室入口に防炎のれんがかけられている。居室にはベッドやタンス・洗面台が備えら、本人が使い慣れた整理箪笥や洋服掛け・ソファー・テレビ・家族の写真・表彰状などが持ち込まれている。仏壇にはお茶が供えられ職員のさりげない心配りが居室を居心地よくしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご本人が「できること」「わかること」を活かして安心安全に生活が送れるような、工夫や取り組みができている建物内部である。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全部面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない